


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

道府県・政令市名【宮城県】

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【V】
2 実施対象者	栗原市立宮野小学校 全校児童129名（男子61名，女子68名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（道徳） ② 行事名（栗原市小学校陸上競技大会・栗原市南部小学校水泳大会） ③ その他（業間マラソン・オリンピックパラリンピックコーナーの設置）
4 目標 (ねらい)	○全員が自己ベストを目指す児童の育成 ・ 体力向上に向け、業間マラソンや長縄跳び、陸上・水泳競技に取り組ませる。 ・ オリンピック・パラリンピックの知識理解を深めさせる。 ・ 自分の目標に向かって努力し、自己ベストを目指し、自らを高めようとする態度を育成する。
5 取組内容	○体力向上に向けた取組 ・ 体力向上に向け、年間を通して業間マラソンを行ったり、各種大会に向けた放課後練習会を行ったりしてきた。 陸上や水泳の練習では、学区内の築館高等学校陸上部の皆さんや、水泳部の皆さんに来校していただき、指導してもらった。先輩方の走りや泳ぎを参考にし、自分の記録を伸ばそうと熱心に練習に取り組む児童の姿が見られた。  ○オリンピック・パラリンピックの知識理解を深めさせる取組 ・ 校内にオリンピック・パラリンピックの掲示コーナーを設置し、競技種目やマスコットキャラクターの紹介などの掲示を行った。 自分が入っているスポーツクラブの種目や、パラリンピックの選手の写真の前で足を止め、興味深く眺めたり、それぞれの種目を覚えたりする児童の姿が見られた。 「東京大会ではサッカーを見に行きたい。」「私はホッケーを見に行きたい。」という会話から、関心の高まりも感じた。 